

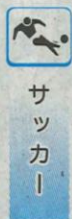


正智深谷ー昌平 後半2分、昌平の本間(左)が先制ゴールを決める(伊部侑甫撮影)

昌平、王者正智に快勝

20日に決勝

県高校新人大会



(第3日・埼玉工大グランド)
準決勝を行い、昌平と本庄第一がそれぞれ

勝って決勝に駒を進めた。決勝進出はともに2度目で、昌平が2年ぶり、本庄第一が8年ぶり。

(13日)

昌平は後半の2得点で今冬の全国高校選手権に出場した正智深谷に2-0で快勝した。後半2分に縦パスに抜けた本間の今大会初得点で先制すると、22分には針谷が直接FKを決め突き放した。

終盤の攻撃に光明

現時点では点差以上に力の差があった。正智深谷の小島監督は「組織としても個人としても、それぞれが攻守の役割を果たせていない。新人戦の26人の他にも、けが人を含めて幅広く試していきたい」と、淡々とした表

情で振り返った。最大の課題は昌平のパス回しに対応し切れず、付け入る隙を与えた守備面。ボランチを務めた主将の小山は「守備が安定しないまま、後半も改善できなかった。きょうの試合は未熟な部分全て

後半2ゴール 3連続無失点

昌平 2(20-0)0 正智深谷 0(21-0)0
▽得点者(昌平)本間、針谷
▽審判(主)水野(副)永野

正智深谷は前半から攻撃の形をつくれず。守備陣も昌平攻撃陣の前に、踏ん張り切れなかった。

▽交代(昌平)後半36分 新垣0(秋元)後半38分 佐相0(本間)正前30分 須藤0(金子)後0分 田島1(海老塚)後28分 今岡0(谷口)
▽審判(主)水野(副)永野 大塚
▽40分ハーフ

蹴が左足で蹴り込み先制。後半32分、右クロスを入れ山が押し込んだ。ロスタイムに1点返されたが逃げ切った。決勝は20日、川口青木町公園陸上競技場で午後2時にキックオフ。

昌平は後半2分、針谷が左足で決めて先制。22分には針谷が直接FKを決め追加点を奪った。守備にも安定感があり、相手にほとんど決定機を築かせず3試合連続無失点。
正智深谷は前半から攻撃の形をつくれず。守備陣も昌平攻撃陣の前に、踏ん張り切れなかった。

2発導いた修正力

前半から今冬の選手権代表校を寄せ付けず、圧倒的な昌平ペースだった。だが、「ここ2試合のつまみ食いしていた部分を消されてい」と藤島監督。止まってボールを受ける場面が多く、スタイルを出し切れていなかった。それでも、すぐさま反省点を修正し、後

半の2得点につなげるあたりは地方の高さがある。0-0の後半2分、攻撃のタクトを振るMF針谷の縦パスに、裏へ抜け出した本間がFWとして仕事できていなかった。貪欲に狙った」と今大会初得点を、左足で豪快に突き刺し先制。「ここから

松本、佐藤、星野の2列目が流動的にポジションを変えながらボールがよく動かせたようになった。

同22分にはゴールほぼ正面で得たFKを針谷がゴール左隅に沈めるプロ顔負けのビューティフルゴール。壁が

と自信を見せた。

「(石井大輔)

「出た」と反省の言葉ばかりが口を突いた。一方で終盤に披露した両サイドからの攻撃は可能性を感じさせた。理解度を深めて歯車がかみ合ってくれば」と指揮官も好感触を得た様子で、「今は経験と課題を得る時期。失敗していくことが成長の要素」とイレブンの奮起に期待した。

【本庄第一】

000000120020711
木藤崎上谷鉄野辺上林坂(F)K
大安尾三波八塩渡岩小高(C)K
GK DF MF FW
川川田木井藤野本田井村(G)K
宮小上青校近大松米中(S)H
020000010510本浦

【浦和東】

▽交代(本)後半11分 横山2(八鐵)後半20分 金井勇0(渋谷)「浦」後半16分 丹山1(松本)後半16分 篠崎0(中村)後半34分 長里0(桜井)▽審判(主)坂田(副)金井、関口
▽40分ハーフ